

長崎ほいくだより

No. 225
2014.3

啓彦 和秀 川路部 谷中一 行人 谷中一 編集 購読 料

発行：一般社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871



長崎県 JA島原雲仙小浜支部青年部 支部長 宅島 俊一

★★★プロフィール★★★
昭和54年2月25日生まれ。3児の父。長崎県雲仙市小浜町出身。現在、JA島原雲仙小浜支部青年部支部長として、ポテトでつながるプロジェクトを仲間達と立ち上げ、様々な取り組みを行っている。
公式Facebook <https://www.facebook.com/jagaimoboyos>



私達J A島原雲仙青年部小浜支部は、長崎県島原半島の西部、雲仙市小浜町の青年部です。実は、昨年テレビ番組「ザイ鉄腕DASH!!」に出演した際、ジャガイモを作っている青年集団ということで「TOKIO」さんが「J・BOYS」とも名付けて頂きました(笑)。

現在島原半島を管轄するJA島原雲仙では「1億人の胃袋」をキャッチコピーとして、そのなかにある小浜町は、長崎県の特産品でもある馬鈴薯の主要産地の1つです。私達はこれまで食育活動に力を入れ、各イベントへの参加や出展などを主な活動としてきましたが、数年前より若手を積極的に勧誘し、大幅な若返りをはかりました。その若い世代が集まり、『どうせなら、何か面白く』『新しか風は吹かすうで!』『楽しか風は吹かすうで!』そんな思いが芽生え、これまでの活動に加え、新たにJA青年部として今何が出来るのか、何をすべきか、話し合い、そして出たアイデアが、ポテトでつながるプロジェクト! テーマは『つながる』です。

① 農業体験でつながる
私達は6年前から地元小学3年生とその保護者を対象に地元の特産品である馬鈴薯の植え付け、草取り、収穫を通じた農業体験を行います。数年前からは、地元元旅館関係者にも参加して頂いています。また若手地元農業クラブとの連携により、町内保育園児へのサツマイモ掘り体験も毎年行っています。他にもジオパークツアーのなかでは、岩手県陸前高田の子ども達を迎え収穫体験も実施しました。

この2つがプロジェクトの核となる『つながる』です。これまでの食育活動を少し発展させ、これからプロの料理人として巣立っていく、調理師を目指す学生さん達にジャガイモに慣れ親しんでもらうことで、将来ジャガイモを使ってもらうきっかけにする。そんなことを期待しつつ、若い柔軟な感性で、新しいレシビを開発してもらおうという発想です。調理師専門学校と学生さん達に企画の説明と情熱を伝え、アンケート調査や、勉強会などを行いました。



② 創作料理開発でつながる
この2つがプロジェクトの核となる『つながる』です。これまでの食育活動を少し発展させ、これからプロの料理人として巣立っていく、調理師を目指す学生さん達にジャガイモに慣れ親しんでもらうことで、将来ジャガイモを使ってもらうきっかけにする。そんなことを期待しつつ、若い柔軟な感性で、新しいレシビを開発してもらおうという発想です。調理師専門学校と学生さん達に企画の説明と情熱を伝え、アンケート調査や、勉強会などを行いました。

③ 地産地消でつながる
今回取り組んで小浜温泉・雲仙温泉、2つの温泉地とも直接つながるキッチンになり、地元青年会や商店や島原半島観光連盟、島原半島ジオパークを始め、多くの異業種とつながり、またそこから新たなつながりがどんどん広がっています。これからは、農業だけでなく、様々な業種の人達がつながり協力していくことが必要です。

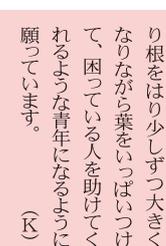
新しいレシビの開発には、調理師専門学校の学生さん達などにアイデアを出して頂き、温泉関係者にも関わって頂き、そして選考会の末、和食部門「じゃがいも磯辺揚げ」洋食部門「アイミルフイーユタカ季節の野菜のせ」スイーツ部門「じゃがいもアイス」の3品が選ばれ採用されることとなりました。これらのレシビは、地元旅館ホテルにて提供されています。そして、今回のプロジェクトに賛同していただけた企業に対しては、これらのロゴマークを使用して頂いています。ポテトのロゴのなかにはジャガイモと温泉マークが隠されています。

④ みんなとつながる
活動や取り組みについて積極的にプレスリリースをだし、新聞等に多く取り上げて頂くことが出来ました。また、全国紙の雑誌にて特集を組んで頂きました。そして長崎TV局、ケーブルTV、ラジオ局等でそれぞれ特集等を組んで頂くことが出来ました。

⑤ 仲間とつながる
支部の盟友の結束力を高めるため、オリジナルロゴシャツを作成しました。デザインは盟友で意見を出し合い、胸にはじゃがいもと鎌をモチーフにしたデザインを、背中には皆で盛り上がるという意味を込めて百姓一揆をモチーフにしたデザインにしました。

⑥ 情報発信でつながる
インターネットでの情報発信を考え、SNSフェイスブックに、当支部のページを作成しました。FBページでは、誰でも閲覧可能で、簡易のホームページ・ブログとして利用しています。是非、お手持ちのモバイル・PC等で検索してみてください。

今後の展開
様々な問題も出てきているので、改善・改良し今後の取り組みを更に充実させ、よりよいつながりを



私の保育園の園庭に桜の木があり、さほど大きな桜の木ではないのですが、今年で7年目の木になりました。初めに植えられたときは小さな木で、小さな桜をチラチラと咲かせる程度でした。しかし、ときが経つにつれ幹も大きくなり花も少しずつ多くなってきました。今では、木の根もしっかり土にはり、大きな枝とたくさんの葉で、葉のトンネルをつくり、夏の強い日差しから子ども達を守るように建っています。今年のは、この桜の木にとつて、一つの大きな門出になります。というのが、桜の木が植えられたときに、0歳の赤ちゃんが入園してきた子ども達が卒園する年になるからです。私が勝手に思っているだけなのですが、卒園する子ども達が赤ちゃんと大きくなっていく姿を見ながら、桜の木自身も成長してきたのかと思っています。感慨深い今年を感じているからです。今年のは、いつも以上にいっぱい花を咲かせ、子ども達に桜のトンネルを作り、同級生の門出を祝ってほしいなと思っています。また、卒園する子ども達もこの桜の木のように地にしっかりと根をはり、少しずつ大きくなりながら葉をいっぱいつけて、困っている人を助けてくれるような青年になるように願っています。

(K)

長崎ほいくだより

購読料 一部 55円

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

続きは、お買い求めいただきご購入下さい。
お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介します

■ つれづれ

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ 保育のひろば

● 地域との交流

各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

● ランチタイム

給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

● 保育園めぐり

県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ すこやかなそだち

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ 読者のひろば

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ であい

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ ZOO夢イン 家族のお出かけスポット情報

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ つぶやき

■ わんぱく写真館

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ え?!絵本

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。